

環境技術実証事業（ヒートアイランド対策技術分野
 地中熱・下水等を利用したヒートポンプ空調システム）
 今までの検討経緯について

1. 今までの検討経緯

当該分野の平成 22 年度における検討経緯を下表に示す。

表 1 検討経緯

日時	項目	検討内容
平成 22 年 5 月 12 日	WG 会合（第 1 回）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実証試験要領（案）に関する検討 ・ 実証機関の公募・選定に関する検討
6 月 3 日	WG 会合（第 2 回）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実証機関の審査 →地中熱利用促進協会が実証機関として承認された
7 月～平 成 23 年 2 月	実証試験の実施	【実証単位 A】 <ul style="list-style-type: none"> ・ ミサワ環境技術（株） ・ 三菱マテリアルテクノ（株） ・ （株）秀建コンサルタント 【実証単位 B】 <ul style="list-style-type: none"> ・ サンポット（株） ・ ゼネラルヒートポンプ工業（株） 【実証単位 C】 <ul style="list-style-type: none"> ・ （株）福島地下開発
12 月 9 日	拡大 WG 会合	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業や対象技術への要望・意見 ・ ロゴマークについて
平成 23 年 3 月 4 日	WG 会合（第 3 回）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実証試験結果について ・ 実証試験要領の見直しについて ・ ロゴマーク（案）について

2. ワーキンググループ会合（第2回）議事概要

平成22年6月3日（木） 15:30～17:30
株式会社三菱総合研究所 2階 セミナー室C

議事次第

1. 開会
2. 議事
 - (1) 第1回 WG 議事概要
 - (2) 実証試験要領について
 - (3) 実証機関の募集・選定について
 - (4) 今後の検討スケジュールについて（予定）
3. 出席検討員：藤井光（座長）、足永靖信、笹田政克、関根賢太郎、花崎広隆
欠席検討員：大岡龍三、藤谷泰裕
4. 閉会

配付資料一覧

資料1	第1回 WG 議事概要
資料2	平成22年度 実証試験要領
資料3	平成22年度 実証試験要領（案）
資料4	審査結果記入用紙（非公開資料）
資料5	各団体からの申請書類（非公開資料）
資料6	今後の検討スケジュールについて（予定）

議事

- (1) 第1回 WG 議事概要
 - ・ 事務局より、資料1に基づき、第1回の議事内容、平成22年度 実証試験要綱案について説明がされた。
- (2) 実証試験要領について
 - ・ 事務局より、資料2に基づき、第1版実証試験要領から加筆修正の施された部分について説明がされた。
- (3) 実証機関の募集・選定について
 - ・ 事務局より、資料3、4に基づき、実証機関選定の考え方について説明がされた。
 - ・ 実証機関への応募団体（特定非営利活動法人 地中熱利用促進協会）より、資料5に基づき、申請内容について説明がされた。

- ・ 申請内容に関して、応募団体に対するヒアリング及び質疑が行われた。
- ・ 上記のヒアリング及び質疑の内容を踏まえ、応募団体の実証機関としての適切性について審議が行われた。
- ・ 審議の結果、全委員一致で、応募団体を実証機関として認めることが確認された。
また、実証機関は、下記の3点に留意して事業を進めることが確認された。
 - －試験で機器を複数台使用する場合は、精度や仕様を揃えること。
 - －コンプライアンス委員会などの議事録を協会で必ず残し、必要に応じて提出すること。
 - －試験予算の見積りは、協会と外部委託先の分を分けて明示すること。

3. 拡大ワーキンググループ会合議事概要

平成 22 年 12 月 9 日（木） 13:00～15:00

J Aビルカンファレンスルーム 301A 会議室

議事次第

1. 開会
2. 議事
 - (1) 環境技術実証事業 ヒートアイランド対策技術分野（地中熱・下水道を利用したヒートポンプ空調システム）の概要について
 - (2) 事業及び対象技術分野に関する要望・意見について
 - (3) 今後のスケジュールについて
 - (4) その他
3. 出席検討員：藤井光（座長）、足永靖信、大岡龍三、笹田政克、関根賢太郎、花崎広隆
意見者（平成 21、22 年度実証機関）：
地中熱利用促進協会
意見者（平成 21、22 年度実証申請者）：
ゼネラルヒートポンプ工業株式会社、ミサワ環境技術株式会社
意見者（平成 22 年度実証申請者）：
株式会社秀建コンサルタント、三菱マテリアルテクノ株式会社
欠席検討員：藤谷泰裕
4. 閉会

配布資料一覧

- | | |
|------|---|
| 資料 1 | 環境技術実証事業の概要について |
| 資料 2 | 環境技術実証事業（地中海・下水等を利用したヒートポンプ空調システム）の概要について |

- 資料3 事業及び対象技術分野に関する要望・意見について
資料4 実証試験概要の修正に向けて
資料5 ロゴマークについて
資料6 今後のスケジュール
参考資料1 平成22年度 実証試験要領
参考資料2 平成22年度 ロゴマークの活用事例（非公開資料）

議事

- (1) 環境技術実証事業 ヒートアイランド対策技術分野（地中熱・下水道を利用したヒートポンプ空調システム）の概要について
- ・ 環境省より資料1、2に基づき環境技術実証事業 ヒートアイランド対策技術分野（地中熱・下水道を利用したヒートポンプ空調システム）の概要について説明がされた。
 - ・ 集客力のある展覧会等で積極的に結果を公開していくべきとの意見があった。
- (2) 事業及び対象技術分野に関する要望・意見について
- ・ 事務局より資料3、4、5に基づき事業及び対象技術分野に関する要望・意見について説明がされた。
- (実証機関の立ち会いについて)
- ・ 実証は、実証機関が1回以上立ち会う等の規定を設けることを前提に、申請者がデータを出して、実証機関が解析する仕組みとすることが好ましいとの意見があった。
 - ・ 申請者がデータを出す仕組みとする場合、不正行為を想定した仕組みを検討する必要があるとの意見があった。
- (事業全体について)
- ・ ロゴマークの否定的な文言は消してほしいとの意見があった。
- (ロゴマークについて)
- ・ 特定の一つの製品のみを対象とした実証であるため、パンフレットに結果を載せる場合は、かなり厳密な断り書きが必要との意見があった。
 - ・ ロゴマークには、実証単位と実証場所の記載が必要との意見があった。
 - ・ ロゴマークの意味をしっかりと示すのが重要であり、これにURLがついていれば、実証結果にもたどりつきやすいとの意見があった。
 - ・ 「環境省」の文字がもっと大きいと効果があるとの意見があった。
 - ・ 第三者実証である旨、URL、実証番号の3つがあれば良いとの意見があった。
 - ・ ロゴの中には結果は示さない方針とし、その他の記載事項に関しては、アンケート結果を踏まえ、読みやすさを考慮しつつ案を検討すべきとの結論に至った。